

## 第 2 回モニター会議意見の取り扱いについて

項 目	意 見	分 類
まちなか再生事業	○本町でもパーク PFI が進んでいるが、町民と事業者との関係性構築が事業推進には重要だと視察報告を聞いて思った。	意見として伺う
	○「まちなか再生」と言われているが、空き店舗は依然として残っており、どのような姿を目指して再生を進めているのか、その具体的なイメージが見えにくい。 →（回答）：新しい店舗の出店も見られるものの、既存店舗は老朽化が進み、店舗と住宅が一体となっているケースも多い。そのため、店舗を閉めても住宅として居住が続く状況にあり、土地利用の更新が進みにくい。こうした状況を抜本的に変えるには、土地地区画整理事業の実施が効果的と考えられるが、町としては現時点で実施の考えを持っていない。	回答済み
	○福祉事業者が参入しやすいように空き店舗情報をわかりやすく発信してほしい。 →（回答）： まちなかのにぎわいを創出するためには、経済効果を目的とした店舗の誘致だけでなく、福祉事業所など多様な機能が入ることで、新たな人の流れが生まれる可能性がある。	回答済み
	○まちなかの店舗の老朽化が進む中、現在の中心市街地にこだわらず、場所を移して新たにまちを形成する発想がなければ、にぎわいの再生は難しい →（回答）：帯広市と芽室町の境界は都市計画上で明確に区分されており、芽室町は帯広市と住宅地や商業施設が連続するようなまちづくりの計画になっていない。	回答済み
	○2020年に芽室へ移住。かつての賑わいを取り戻すとの説明があったが、かつての「賑わい」がわからない。	意見として伺う
	○中高生が集える場所が必要。習志野市の「まちづ	意見として伺う

	<p>くり会議」の様に色々な方々が参加し、協働のまちづくりを進めることが大切と思う。</p> <p>○様々な活動をしている芽室町と思うが、新たな店舗、空き店舗の活用による活性化策が重要。 →（回答）志木市のまちなか再生（企業支援）、いろは親水公園、芽室町においても空き店舗について調査の段階、本町における Park-PFI について（公園からまちなか）等について説明。</p> <p>○まちづくりを考える時、周辺自治体の状況も考慮する必要がある。 （志木市の隣町は？習志野市の隣町は？）</p> <p>○特色を生かしたまちづくりが重要。色々な方々の意見を聞く会議体の設置。 （特急が止まる町、農業の町など）</p>	<p>回答済み</p> <p>意見として伺う</p> <p>意見として伺う</p>
協働のまちづくり支援事業	<p>○地域とのつながりを持ちたいとの思いから、法人として町内会への加入を申し込んだが、前例がないことを理由に受け入れられなかった。</p> <p>○移住者であるため、地域住民同士の関係性を十分に理解することが難しく、地域の人々と直接会う機会も多くない。</p> <p>○町内会加入者が少なく、役員のなり手にも苦労している。いずれ町内会も限界にくるのではないかと考えている。</p> <p>○コミュニティの必要性が理解できない。 →（回答）：ひとりでは解決できない課題を地域全体で解決することによって、自分たちの暮らす地域をより住みやすくしていくことが、コミュニティの基本的な考え方である。習志野市の地域担当職員制度は、こうした自治活動をまちづくりの仕組みとして位置づけ、行政が制度的に支えている点が特徴的であり、成果を上げている好事例であった。</p> <p>○町内会地区協議会に参加しているが、役員になる</p>	<p>意見として伺う</p> <p>意見として伺う</p> <p>意見として伺う</p> <p>回答済み</p> <p>意見として伺う</p>

	人は限られている。総会に出席したら、役員になる現状。	
	○町内会に参加するという意欲の欠如、魅力が伝わる仕組みづくりが大切。	意見として伺う

茅室町議会「議会報告と町民との意見交換会」の意見・提案・要望等の取り扱いフロー

